

部課名		下水道部下水道経営総務課											
課の使命		・市民に安全で衛生的な生活環境を提供するために、下水道事業の進捗管理を行い、効率的で健全な下水道事業経営を行います。 ・下水道部各課の情報を迅速に共有し、関係部署との調整を行い、部内の円滑な業務遂行を図ります。											
実行計画(年度目標)													
年度目標設定						中間確認			年度末確認				
順位	計画 類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進 捗 状 況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に 対する 実績値	評 価	評価の 視点	課題と対応
1	経営 改革 プラン	「未来につなぐ下水道事業プラン」に基づく進捗確認及び評価分析	「未来につなぐ下水道事業プラン」(町田市下水道事業経営戦略)に基づき事業の進捗確認及び経営の健全性や効率性、施設の老朽化の状況などの評価分析を行います。	進捗確認及び評価分析	実施								
2	事務 事業 見直し	下水道事業の民間活力導入に関する検討	マーケットサウンディングを行いながら、複数の事業スキームを評価し、選定作業を行います。	下水道事業手法の選定	完了								
3	事務 事業 見直し	安定した下水道事業経営の推進	将来を見据え安定した下水道事業経営を継続するため、経営戦略の改定及び下水道使用料の見直しについて検討します。	①経営戦略の改定 ②下水道使用料の改定	①完了 ②改定案の作成								

年度目標設定						中間確認			年度末確認				
順位	計画 類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗 状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に 対する 実績値	評価	評価の 視点	課題と対応
4	個別 計画	①「町田市下水道強靱化計画」の策定 ②「町田市公共下水道事業計画」の変更	①大規模地震の発生や気候変動による水害に備え、町田市の下水道施設を強靱化するため、「町田市下水道強靱化計画」を策定します。 ②2024年度に改定した町田市公共下水道全体計画を基に「町田市公共下水道事業計画」を変更し、汚水処理水の水質改善や浸水被害の軽減に向け計画を進めます。	①計画の策定 ②事業計画の変更	①完了 ②変更								
5	個別 計画	下水道BCP（下水道事業継続計画）等の災害対応計画に基づく管理・運用及び訓練や研修の実施	下水道事業継続マネジメント部会を開催し、災害時対応等について検討します。大規模災害が発生した場合でも、下水道が果たすべき機能を速やかに、かつ高レベルで確保するため、部内で訓練や研修を実施します。	訓練や研修の実施回数	4回								
6	個別 計画	下水道事業に関するPRの推進	下水道の仕組みなどについて、ホームページ上での説明、下水道広報紙の発行等により、下水道事業に関するPRを行います。	市民等への情報発信回数	5回								
7	人材 育成	「チームワーク志向」	下水道事業の基礎知識や経営意識の向上を図るため、新入職員、異動職員や部内の職員に向けた部内研修を実施します。	部内研修の実施回数	2回								

部課名		下水道部下水道整備課											
課の使命		・豪雨による浸水や地震による被災への備えと対策を強化し、災害に強いまちづくりを進め、安心な暮らしを築きます。 ・水路や河川の水質向上を図り、快適な住環境を確保するため、汚水管と合併処理浄化槽による整備を進めます。											
実行計画(年度目標)													
年度目標設定						中間確認			年度末確認				
順位	計画 類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗 状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に 対する 実績値	評価	評価の 視点	課題と対応
1	重点 事業 プラン	雨水管の整備	浸水被害を軽減するために、雨水幹線や枝線の工事を行います。	浸水対策事業における 完了箇所数	3箇所								
2	重点 事業 プラン	雨水管の耐震 診断	緊急輸送路等に布設された雨水管のうち、軟弱地盤による液状化の可能性が高い箇所の雨水管を、耐震化します。	雨水管耐震化延長	4.5km								
3	個別 計画	下水道管の改築更新	下水道施設の予防保全型維持管理を計画的に行うため、「管路修繕・改築計画」をもとに、改築工事を実施します。また、詳細設計を発注し、次年度の改築工事に向けて準備をします。	改築工事延長	9.4km (累計)								
4	事務 事業 見直し	下水道事業の民間活力導入に関する検討	マーケットサウンディングを行いながら、複数の事業スキームを評価し、選定作業を行います。	下水道事業手法の選定	完了								

年度目標設定						中間確認			年度末確認				
順位	計画 類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗 状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に 対する 実績値	評価	評価の 視点	課題と対応
5	事務 事業 見直し	事業の廃止・縮小(合併処理浄化槽設置事業補助金制度の変更)	「町田市公共用水域水質改善10ヶ年計画」に基づき、2026年度までに、合併処理浄化槽への転換に伴う補助制度の見直しを行います。	①制度改正方針案の決定 ②制度改正の周知	①決定 ②周知								
6	事務 事業 見直し	事業の廃止・縮小(浄化槽維持管理費補助金制度の変更)	「町田市公共用水域水質改善10ヶ年計画」に基づき、2026年度までに、単独処理浄化槽への維持管理費補助金制度の見直しを行います。	①制度改正方針案の決定 ②制度改正の周知	①決定 ②周知								
7	人材 育成	「チャレンジ志向」	「第1次町田市職員人材育成総合プラン(案)」に基づき、最新技術や先進手法に関する研修会などに参加します。	研修会への参加	2回								

部課名		下水道部下水道管理課											
課の使命		「水」が滞りなく流れるよう予防保全型の維持管理を進め、安定的な機能確保を図り、啓発活動を通じて市民の皆様とともに「良好な水環境」を次世代につなげます。 ・下水道施設(管きょ、水路、調整池等)の維持管理を適切に行います。 ・下水道施設を計画的に修繕し、老朽化による破損を未然に防ぎます。 ・下水道施設のパトロールを行い、豪雨による浸水被害を軽減します。 ・下水道施設、宅内排水設備の適切な設置を指導します。 ・適正に下水道台帳を閲覧できるようにします。											
実行計画(年度目標)													
年度目標設定						中間確認			年度末確認				
順位	計画 類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗 状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に 対する 実績値	評価	評価の 視点	課題と対応
1	個別 計画	ストックマネジメント(※)による下水道事業の推進 (※ストックマネジメント:良好な下水道サービスを継続的に提供するための事業運営)	下水道施設の予防保全型維持管理を計画的に行い、今後増大する維持管理コストの平準化を図るため、基本計画に基づき、「町田市下水道管路施設資産管理第3期調査実施計画」による点検・調査を行います。	劣化状況の 点検・調査延長	6km								
2	個別 計画	調整池の管理計画の策定	下水道部が管理する雨水調整池について、清掃や草刈りを計画的に実施するため管理計画の策定を行います。	管理計画の策定	完了								
3	個別 計画	対象水路の点検	2023年度に策定した点検要領に基づき点検を実施します。点検結果を基に、水路構造物の劣化状況を取りまとめます。	点検延長	8km								

年度目標設定						中間確認			年度末確認				
順位	計画 類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗 状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に 対する 実績値	評価	評価の 視点	課題と対応
4	個別 計画	(業務効率化) 適切な文書の 管理と活用	①管路及び水路の維持管理業務委託で使用している文書の電子化に向け、試行及び評価を行います。 ②公共ますの自費工事に関する申請を電子化します。 ③他企業が下水道施設に近接して施工する際に、市へ提出する通知文書について、電子化に向けた試行及び評価を行います。	①試行及び評価 ②実施 ③試行及び評価	完了								
5	人材 育成	「改革・改善志向」	災害時に迅速に対応できるよう研修を行います。	研修の実施回数	2回								
6	個別 計画	下水道部所管 の土地利活用	下水道部が管理する土地について、有効活用の実施を行います。	土地利活用箇所の選定	2箇所								
7	事務 事業 見直し	下水道事業の 民間活力導入 に関する検討	マーケットサウンディングを行いながら、複数の事業スキームを評価し、選定作業を行います。	下水道事業手法の選定	完了								
8	個別 計画	新たな下水道 GISシステムの 導入	下水道GISの更新に伴い、新たなシステムを導入します。	新たな下水道GISの導入	完了								

部課名		下水道部水再生センター											
課の使命		・下水処理施設の計画的な点検・調査・改築更新の実施、耐震化の促進により施設の機能を維持することで、市民が快適に生活できる環境を整えます。 ・再生可能エネルギーの活用や下水の高度処理の導入など、環境負荷の少ない処理場運営を進め、地球環境の保全と循環型社会へ貢献します。											
実行計画(年度目標)													
年度目標設定						中間確認			年度末確認				
順位	計画 類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進 捗 状 況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に 対する 実績値	評 価	評価の 視点	課題と対応
1	重点 事業 プラン	成瀬クリーン センターの耐 震化	減災対策として簡易放流施設の工事を実施しま す。	工事進捗率	25%								
2	重点 事業 プラン	鶴見川クリー ンセンターの 耐震化	2023年度から行っている焼却炉棟及び煙突基礎の 耐震補強工事(2023～2025年度)を引き続き実施 します。 なお、煙突基礎の耐震補強工事については、2024 年度に完了しています。	工事進捗	1号焼却炉棟 工事完了								
3	個別 計画	ストックマネジ メント計画(第 Ⅱ期)に基づ いた下水道事 業の推進	設備の詳細調査を行い、劣化状況、重要度に応じ た修繕計画を作成することで、維持管理コストの平 準化を図っていきます。	詳細調査の件数	10件 (第Ⅱ期累計 40/50件)								
4	個別 計画	下水処理水の 水質向上	①老朽化した散気装置(※1)を交換することで効 率化を図ります。 ②2021年度から実施しているB-DASH技術に関す る自主研究の7項目のうち、取り組み中の4項目に ついて、データの取得を目指します。 ※1 汚水を処理するため、微生物の活動に必要な 空気を反応タンクに送り込む装置。	①高効率散気装置の導 入率 ②自主研究データ取得 件数	①50%(累計) ②4件								

年度目標設定						中間確認			年度末確認				
順位	計画 類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗 状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に 対する 実績値	評価	評価の 視点	課題と対応
5	-	「ゼロカーボン シティまちだ」 に向けた取組	①町田市第5次環境配慮行動計画に基づき、2030 年度末までのカーボンハーフ達成に向けて、焼却 炉の高温処理によりN2O排出量を削減し、温室効 果ガス排出量の削減率46%の達成を目指します。 ②省エネルギー性能に優れた汚泥焼却炉に更新 するため、2021年度から行っている汚泥焼却設備 工事(2021～2026年度)を引き続き実施します。	①温室効果ガス排出量 の削減率 ②工事事業進捗率	①46% ②74% (2026年度完 了予定)								
6	事 務 事 業 見 直 し	業務・事務の 効率化	成瀬クリーンセンター及び鶴見川クリーンセンター 間の脱水汚泥運搬業務の事業手法を検討します。	事業手法の検討	事業実施								
7	事 務 事 業 見 直 し	下水道事業の 民間活力導入 に関する検討	マーケットサウンディングを行いながら、事業スキ ームを選定し、要求水準書の作成作業を行います。	下水道事業手法の選定	完了								
8	人 材 育 成	「改革・改善志 向」	下水道事業会計の現状に対する理解を深めると共 に、経営意識を高めることを目的とした研修を課内 で実施します。	開催回数	1回								